

町づくり町民会議(福祉部) ～三朝の子育て・福祉を語ろう～

出席者の皆さんには、様々な角度から、自由に発言いただきました。
貴重なご意見として、今後の総合計画の策定に向け、参考にさせていただきます。

子育て分野

① 現状を語ろう

子育て	町の 良いところ・魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育料が安い。 ・ 入園したい時に、待機しなくても入園できる。 ・ 自然に囲まれた育児環境。 ・ 地域の人とのつながりがある。 ・ 町外から来ても、すぐに受け入れられる地域性。 ・ 保育園での地産地消の給食や、菜園活動（食育）。 ・ 少人数で体験がたくさんできる。 ・ 子育ての支援が充実している。（経済的支援、産後の健診等）
	町の 悪いところ・希望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊び場、公園がない。（特に雨の日） ・ 子どもが外で遊ぶ声が聞こえない。 ・ 親子で参加できるイベントが少ない。 ・ 家に子どもがいなくても、誰でも参加しやすい子育てのイベントがほしい。 ・ 昔より人同士のつながりが希薄化していると思う。近所の人を手助けしようと思っても、遠慮してしまう。 ・ 車がなければ不自由。 ・ 子育て支援センターや子育て支援事業の利用者が少ない。 ・ 情報発信が少ない。（イベント・施設情報、参加者の様子）



② 課題を解決するためのアイデアを出そう

テーマ 子育て世代間、また異世代間のつながりが増えたらいいなあ

- ・ イベントの開催
（子育て世代、ミドル世代、シニア世代誰でも参加できる）
- ・ 学校や保育園の行事に地域の人（高齢者）も参加できる機会を
- ・ 情報発信の充実
- ・ 子育て世代、高齢者も集えるサークル
- ・ 見守り隊や、保育園の応援隊等をもっと充実させて
- ・ 出張子育てセンター（地域の公民館へ出張）
- ・ 乳幼児対象のイベント（プロに教わるお父さんのカメラ教室等）
- ・ お母さんがホッとできる場所（紙芝居、離乳食レストラン、託児つき）

福祉分野

① 現状を語ろう

福祉	町の 良いところ・魅力	<ul style="list-style-type: none">・福祉の事業所が充実。・高齢者のサービスがたくさんある。・自然に囲まれ、のんびり生活しやすい。・温泉がある。・親の面倒をよく見ている。(しかし、時に頑張りすぎる)・近所のつながり、助けがある。
	町の 悪いところ・希望	<ul style="list-style-type: none">・高齢者が多く、それを支えるマンパワーが少ない。・ご近所との距離感が近すぎて、逆に難しいことがある。・小さい町で、個人情報の難しさがある。・子どもたちに、三朝が大好きな町になってほしい。お世話になった三朝に帰ってきてほしい。・障がい者が楽しく集まれる場所がほしい。・高齢者と障がい者が一緒に学習したり、話合う機会がほしい。・子ども、高齢者、障がい者が一緒に、気兼ねなく交流したい。・高齢者や障がい者は、人に迷惑をかけているのではないかと、考えがち。・公共施設で、遠回りしなくてよいように、エレベーターや洋式トイレの案内表示を親切に。・障がい者も農業等で活躍の機会を。・車がないと生活できない。・奥部での生活が難しい。(里部と山間部の差が大きい)・福祉に関心が薄く知識がないので、困ったときに慌てる。・研修会をしても、関心を持つ人が少ない。・困ったときに相談する先がわからない。



② 課題を解決するためのアイデアを出そう

テーマ① 5～10年後に、町民が減らなかつたらいいなあ

- ・健康年齢の延伸 (元気な高齢者)
そのために、声をかけて健診受診や、地域へ“配達する健診”はどうか
介護予防も大事なので、近所に高齢者が集まる場所があるとよい
- ・Iターン、Uターンの人を増やす
働く場所がないといけないので、それについての調査を町外に出た人にしてみる
“お試しで住める住宅”を考えてみる

テーマ② 高齢者、障がい者も皆が行きたくなる場所ができたらいいなあ

- ・近所に集まれる場所を作る

例えば、賀茂地域協議会の“わたげカフェ”のような場所
集落の公民館で

身近な誰かが先生になり、趣味や特技を教えてもらえる

- ・屋根付き広場がほしい

そこでは、昔の遊びを高齢者から子どもへ教えたり、昔話が聞ける

テーマ③ 福祉への意識がかわったらいいなあ

- ・“町民が福祉を考える場（機会）”が増える

例えば、若いうちから福祉の情報や知識を得る学習の機会

高齢者や障がい者と健常者の交流